

# 「社会資本の適切な維持管理(アセットマネジメント)の推進」

(H24. 6～)

【幹事】 大分県 土木建築部 建設政策課

【参加県】 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、山口県

## 目的

社会資本の維持管理手法(アセットマネジメント)に関する調査・研究や情報交換を行い、九州全体の社会資本の適切な維持管理を推進する



橋梁の損傷



トンネルの損傷・崩落



舗装のひび割れ

## 取組内容と成果

〔取組内容〕

### 1. 担当者会議

H24. 10～R6. 2までに計14回の担当者会議を開催

○点検・診断の取組や長寿命化計画の策定状況について意見交換

○維持管理に係る予算・制度面の課題について協議

○長寿命化計画策定上の技術的課題について意見交換

### 2. 特別決議への意見反映

財政支援の拡充を特別決議に反映させるよう要請

○河川や港湾施設の維持管理・更新に係る補助制度の対象を小規模な施設にまで拡大すること

○修繕事業の一環として実施する点検の自治体負担分を起債対象とするなど、財政支援の拡充を図ること

☆H25. 11 九州地方知事会長が特別決議を自民党本部、国土交通省等へ要請

☆H26. 4 点検に要する経費を一部起債対象とする総務省通知



自民党高市政調会長への要請状況

〔成果1〕点検に係る自治体負担経費の一部が起債対象となり、特別決議の要請が反映された

橋梁等の道路施設の老朽化対策について、新たに個別補助制度が創設された

国への提言により、防災・減災、国土強靱化5か年加速化対策の柱の一つとしてインフラ老朽化対策が新たに位置づけられた

〔成果2〕長寿命化計画の先進事例や新技術の導入など、技術情報に係る意見交換を行い、各県が進める長寿命化計画の策定等に反映され、アセットマネジメントの取組の進捗が図られた



トンネル点検時にレーザー等を使い劣化箇所を効率的に診断



ドローンを用いた橋梁点検の試行

新技術の導入などを踏まえたアセットマネジメントの推進

## 今後の課題・取組

・適切に維持管理・更新を実施していくための予算を継続的に確保するとともに、維持管理・更新に係る技術開発や技術者の育成を推進するよう、引き続き国等へ要請する必要がある

・政策連合として一定の成果はあったものの、社会資本の老朽化対策を継続的に推進するために、今後の法改正や技術開発の動向を注視しながら、情報の共有と活用を図るため、「九州・山口ブロック アセットマネジメント担当者会議」を年1回以上開催していく